

ついきん



- 特集
令和6年度当初予算可決
チューモクの事業を紹介！
- 3月定例会報告
- 特別委員会視察報告

議会だよりは
こちらからも
ご覧いただけます▶



3月2日・3日 梅まつり

令和6年度当初予算 可決

PICK UP!

チューモクの事業を紹介!

令和6年第1回定例会（2/28～3/22）において、令和6年度若狭町一般会計予算と、7つの特別会計および4つの企業会計それぞれの予算について審議され、可決されました。今号ではその中から6つの事業を紹介します。



予算総額 **196億1,488万円**

一般会計 予算額 **116億7,203万円**

特別会計・企業会計 予算額 **79億4,285万円**

病院建設事業費

2,367万円

国民健康保険上中診療所において患者さんの診察記録・検査結果・投薬指示情報をデータとして記録する電子カルテシステムを導入する。

概要

- 電子カルテシステム 2,066万円
- 電子カルテLAN配線 301万円

スマートエリア開発事業

2億7,990万円

上中駅前エリアにおいて、空家・空地を再整備し、デジタル技術で魅力を上げ、定住人口の確保・自治機能の維持など最先端で持続可能なまちづくりを進める。

概要

- 宅地分譲地造成 … 2億3,725万円
- Wi-Fi 網を構築 …… 1,768万円
- 子どもなどの見守りシステム 200万円
- 防犯カメラなどを搭載した街灯を設置 2,215万円

町制20周年事業

3,700万円

若狭町誕生から20周年を迎え、これまでの歩みを見つめ、これから続く未来へつなげていくために記念事業を実施する。

概要

- 記念式典
- 記念コンサート
- 記念広報
- 各種イベント
メインイベント期間
10月中旬から11月上旬

災害情報放送設備整備事業

5億346万円(6年度分)

屋外で活動する住民に災害関連情報を伝達する手段としてケーブルテレビ網を利用し、屋外スピーカーを町内全域に整備する。(令和5年・6年継続事業)

概要

- 屋外スピーカー設置
..... 94箇所
- 臨時災害放送局 2箇所
- 既存設備改修 1式

パレオ若狭大規模改修

675万円

令和7年に開館20周年を迎えるにあたり、子どもの遊び場整備事業にあわせて、施設全体のリフレッシュ整備を行う予定である。(工事費は令和6年度補正予定)

概要

- 実施設計委託費
正面玄関ひさし屋根改修
外壁改修(タイル・吹付部)
屋根防水
芝生広場(遊具・芝生)
設備・備品(改修・更新)

児童手当事業

2億2,759万円

子育て家庭における生活の安定に寄与すると共に、児童の健やかな成長に資することを目的に児童を養育している保護者に支給。(令和6年10月から)

概要

- 3歳未満 15,000円
- 3歳～小学生 10,000円
- 中学生 10,000円
- 高校生(追加) 10,000円
- 第3子以降
(3歳～小学生の15,000円は廃止、
高校生以下の30,000円を追加)
- 所得制限撤廃

3月定例会

開催期間 2月28日(水)～3月22日(金)

令和5年度 一般会計補正予算(第6号) 5,002万円増額する補正予算を可決

■住民税非課税世帯等生活支援給付金事業

物価高騰による影響が大きい低所得世帯への支援を目的として給付する。

- ① 住民税均等割のみ課税世帯への給付金
支給額 1世帯当たり 10万円
- ② 住民税非課税世帯および住民税均等割のみ課税世帯の18歳以下の子どもへの追加給付金
支給額 1人当たり 5万円

○財源 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

令和5年度一般会計補正予算(第7号) 2億9,758万円を減額補正

令和5年度
一般会計予算総額

125億7,172万円

主な歳出

(千円未満切捨て)

事業内容	補正額
まごころ基金費事業(寄付金の積立金)	171万円
減債基金費(基金への積立金)	2,664万円
心身障害者(児)医療無料化対策費事業(実績に伴う増額)	249万円
若狭町水稻生産緊急支援事業(主食用米生産農家支援(2,000円/10a))	2,100万円
嶺南地域有害鳥獣処理施設運営事業(実績に伴う増額)	360万円
除雪対策事業(委託費等増額)	1,520万円
町道1503号線改良工事(千才橋下部工事(無悪))	5,032万円
小学校管理費(消防設備、遊具修繕)	552万円

主な歳入(補正額)

(千円未満切捨て)

◆ 国庫支出金	2,831万円	◆ 地方交付税	1億4,052万円
◆ 県支出金	▲1,992万円	◆ 繰越金	3,012万円

特別会計・企業会計

(千円未満切捨て)

会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	▲2億1,666万円	16億4,546万円
後期高齢者医療	▲237万円	2億2,697万円
直営診療所	570万円	1億3,450万円

会計区分	補正額	合計額
介護保険	▲5,234万円	20億2,700万円
下水道事業	▲650万円	17億6,839万円

常任委員会報告

予算決算常任委員会

◆令和5年度補正予算

本委員会に審査を付託された一般会計および特別会計補正予算に関する議案は7件。

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

主な質疑事項

○一般会計補正予算

▼総合政策課関連

問 わかさリノベーション活性化事業補助金が減額であるが、応募がなかったのか。

答 スマートエリア開発事業におけるわかさりノベーション活性化事業は2件相談を受け、1件は現在も協議中である。令和5年度中は難しいが令和6年度も継続協議していく。

問 町営バス常神・三方線運行委託の減額理由は何か。

答 運行事業者の入札における入札差金であり、便数を減らしたことではない。



町営バス常神・三方線

▼健康医療課関連

問 子宮頸がんワクチンの受診者減に伴う乳幼児等予防接種事業委託の減額理由は。

答 当初は受診者を620名と見込んでいたが、1月末現在44名である。子宮頸がんワクチンについては、一人当たり3回接種必要で、令和5年度単価は1回あたり2万9,000円で、3回接種で8万7,600円である。受診者の推移から、子宮頸がんワクチン分として4,553万2千円を減額する。

▼教育委員会関連

問 小学校、中学校で要保護、準要保護児童援助費を受けた人数は。

答 小学校は準要保護が38名、令和6年新入学準備支援として3名である。中学校は準要保護が24名、令和6年新入学準備支援として6名、要保護は小学校、中学校ともに対象者なし。要保護は、生活保護で対応し、修学旅行の費用発生時のみ対応している。

▼環境安全課関連

問 ゴミステーションの補助金は今後もあるのか。

答 令和5年度事業のみと考えている。今後は要望をみて検討する。

○直営診療所特別会計補正予算

問 三方診療所の患者が増えた原因は。

答 昨年5月にとむらクリニックが閉院されたことが要因と考える。

○介護保険事業特別会計補正予算

問 給付費等が減額となったのは、介護保険の認定や審査の基準が厳しくなったということか。

答 介護保険認定は、若狭広域行政事務組合で統一に行い、若狭町以西の市町共通項目で実施している。認定には共通の医師や専門の方に入っていたらいいことではない。

◆令和6年度当初予算

本委員会に審査を付託された一般会計および特別会計・企業会計予算に関する議案は12件。

一般会計予算は、委員全員賛成をもって可決すべきものと決定。

特別会計および企業会計予算の11議案は委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

主な質疑事項

○一般会計

▼総務課関連

問 町主催のイベントに20周年記念の冠をつけ実施するが、地域主催のイベントはどのように考えているか。

答 地域主催のイベントについては「地域活力フォローアップ事業」により支援を考えている。詳細は実行委員会が協議し取り組む。

問 町制20周年記念コンサートだが、パリア若狭音楽ホールは定員に限られる。多くの人が楽しめる方法はあるか。

答 町制20周年記念イベントは、コンサートに限らず、多くの方に来ていただくよう実行委員会が今後検討する。



スマートエリア内の分譲イメージ

▼総合政策課関連

問 地域BWA(ブロードバンドワイヤレスアクセス)とはどのようなものか。

答 ミニつながるエリアを公共で整備するものである。

問 SDGs集落イベント活性化支援事業はどのようなイベントで、他の補助金と併用できるか。

答 集落で婚活イベントを開催するなどである。他補助金との併用も自己負担額二分の一等、要綱に沿った内容であれば可能。

▼観光商工課関連

問 若狭・三方五湖ツーデーマーチは、昨年の事故を受け、コースや安全面で見直しはあるのか。

答 今年は安全対策を強化し、コースに看板やコーンを設置、危険箇所周知とスタッフ配置など行い、例年通りで実施する予定である。



若狭・三方五湖ツーデーマーチ

▼環境安全課関連

問 能登半島の震災を受け、集落で簡易トイレの備蓄を計画したい場合の補助事業はあるか。

答 例年実施している自主防災組織への補助事業を利用していただきたい。

▼産業振興課関連

問 ふるさと納税型クラウドファンディング納税者にも返礼品を贈るのか。また、クラウドファンディングで募った寄付金を、ふるさと応援産品創出支援事業費に充当するかの。

答 返礼品を贈る予定である。頂いた寄付金から返礼品分を差し引いた残りの部分を、ふるさと応援産品創出支援事業の財源とする。

▼歴史文化課関連

問 持田区にコウノトリが巣作りを始めているが、三田区同様の巣塔を



ふるさと納税

建てられないか。

答 今後、地域の盛り上がりの状況によつては検討したい。

▼福祉課関連

問 老人クラブ活動等事業補助金437万一千円は町老人クラブ連合会への補助金か。

答 各集落老人クラブ等への補助金も含まれている。

▼教育委員会関連

問 熊川小学校で実施している児童クラブの移転について、利用者へ周知はされているのか。

答 熊川小学校の児童クラブは、今年の春休みから歴史文化館で行う予定であり、周知は済んでいる。

問 歴史上の人的文化遺産顕彰事業が令和6年度から補助金になった理由は何か。また、今年の催しはどのようなものを予定しているのか。

答 佐久間艇長記念遺徳顕彰式典実行委員会へ補助することとなった。昨年同様、式典はリブラ若狭、自衛隊の演奏会をパレア若狭で行う予定である。

▼パレア文化課関連

問 フィットネスパレア若狭利用促進事業補助金の内容はミスノの企画か。

答 ミスノが利用促進策を提案し、町が補助する形で広報も一緒に行う。

○水道事業会計

問 天増川代替水源整備について、施工完了した場合の事業費は、また、整備が必要な理由は何か。

答 事業費として、4億円から5億円を想定する。天増川水源取水施設、熊川浄水場ともに老朽化しており、維持管理費が安価な井戸水源利用も検討材料とし、今後の水道料金が抑えられる方法を検討していく。

○工業用水道事業会計

問 赤字を減らす方法を検討できないか。

答 日本電気硝子の撤退以降、給水収益が上がらない。繰入も含め、財政と相談する。

○上中診療所事業会計

問 令和5年度と比べ、令和6年度はキャッシュフロー的に改善されているのか。

答 令和5年度期首残高から約1,500万円減少の見込みだが、ここ数年の間に資金繰りは改善している。

問 電子カルテシステムは初めて導入するものか。

答 新たに導入するもので、令和6年秋頃から本格運用と考えている。小浜病院との地域包括ケアシステムへの対応は利用できないのか。



上中診療所での診察

答 電子カルテシステムは利用できないが、別システムを介して行っている。

総務産業建設常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案16件と請願1件。

【議案16件】

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

○若狭町監査委員条例の一部改正について

地方自治法の一部改正に伴い、条例を一部改正するもの。

○若狭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

人事院による職員の勤務時間の改正に関する勧告に伴い、条例を改正するもの。

主な質疑事項

問 フレックスタイム制の導入について、週1日の休みを残りの4日間で割り振ると、1日に2時間多く勤務することになる。2週間に1日など、自分で目標を決めて申告すればよいのか。

答 この制度については1週間内で調

整となっている。調整時間は申告制である。

○若狭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

地方自治法の改正によって、条例の改正が必要となるもの。

○若狭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

特別職の職員の内国旅行における日当および宿泊料を増額するため、条例を一部改正するもの。

○若狭町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づき、勤務時間等の制度の見直しに伴い、条例を一部改正するもの。

○若狭町一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について

一般職の職員の内国旅行における日当および宿泊料を増額するため、条例を一部改正するもの。

○若狭町手数料徴収条例の一部改正について

ごみ処理体制の変更に伴い、手数料の徴収方法に変更があったため、条例を一部改正するもの。

○若狭町漁港管理条例の一部改正について

漁港漁場整備法及び水産業協同組合

法の一部を改正する法律の公布に伴い、条例を一部改正するもの。

○若狭町空家等対策の推進に関する条例の一部改正について

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を一部改正するもの。

○若狭町水道事業給水条例及び若狭町水道法施行条例の一部改正について

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、条例を一部改正するもの。

○若狭町情報基盤整備事業基金条例の廃止について

令和5年度をもって同基金を全額処分するため、条例を廃止するもの。

○若狭町えびす荘条例を廃止する条例の提出について

若狭町えびす荘の廃止に伴い、条例を廃止するもの。

主な質疑事項

問 指定管理者に対する対応について伺う。

答 若狭町公共施設総合管理計画に基づき、平成29年の指定管理更新時から廃止の告知をし、令和3年には更新延長ができないと告知をした。

○小浜市と若狭町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について

小浜市クリーンセンターを廃止することに伴い、規約を廃止するもの。

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

海越浄化センター整備に伴う辺地対策事業債の発行及び措置のため、当該辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定するもの。

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

飲料水供給施設杉山区整備に伴う辺地対策事業債の発行及び措置のため、当該辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更するもの。

○町道路線の認定、廃止及び変更について

倉見井崎線成願寺地係における道路改良工事に伴うもの。

【請願 1 件】

採決の結果、賛成多数により採択すべきものと決定。

○(仮称)三十三間山の風力発電事業計画に対して反対する意見書の提出を求める請願書

(仮称)三十三間山の風力発電事業に対して若狭町議会として反対の意見表

明を決議し、意見書の提出を求めるもの。

参考人への主な質疑事項

問 みそみ地区の方は山を守るために

どのような活動をされているのか。

答 みそみ地域づくり協議会で「みそ

みトレイルクラブ」を立ち上げ、登山を楽しむとともに植樹を行っている。



三十三間山

教育厚生常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案2件。

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

○若狭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

国の子ども家庭庁の設置等による子ども・子育て支援法等の関連法律の改正に伴い条例を改正するもの。

主な質疑事項

問 バス送迎での置き去りや、うずらの卵がのどに詰まる死亡事故が発生している。町はどのよう対応しているのか。

答 日々の通園通所に使うバスはないうずらの卵は従来から給食に出していない。

問 事業者が策定する計画の安全、実効性はどこが確認するのか。

答 県の認可保育所であり、毎年指導監査がある。また、所長会や保育所内の研修で確認している。

問 懲戒にかかる権限の条文の削除についてはどう考えているか。

答 懲戒権については、子どものしつ

けのために制裁を加えることが児童虐待を正当化され、口実に利用される懸念があるため、懲戒権は無いという法律の改正に基づき条文を削除することとなる。

問 車の中に置き去りの事例があったが、町では欠席児の連絡等の対策は行っているのか。

答 送迎では保育所の中で受け渡しを行っている。出席していない場合は必ず保護者に連絡し、所在を確認している。

○若狭町介護保険条例の一部改正について

令和6年4月からの第9期若狭町介護保険事業計画における保険料の見直しに伴い条例を一部改正するもの。

主な質疑事項

問 準備基金投入というのは、町の介護保険の基金から充てるということか。

答 介護保険を原資とする、保険料上昇の抑制を図るための準備基金からである。

問 基準所得金額等を第8期の10段階から、第9期は13段階へと枠を増やしたのは理由があるのか。

答 所得の違いを考慮し段階を広げるといふ国の方針に基づいている。

3月定例会

2月28日に採決され全員賛成で可決された議案

- 令和5年度若狭町一般会計補正予算(第6号)
- 工事請負変更契約の締結について

3月6日に採決され全員賛成で可決された議案

- 令和5年度若狭町一般会計補正予算(第7号)
- 令和5年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 令和5年度若狭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 令和5年度若狭町直営診療所特別会計補正予算(第3号)
- 令和5年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 令和5年度若狭町土地開発事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和5年度若狭町下水道事業会計補正予算(第3号)

3月22日に採決され全員賛成で可決・採択された議案・請願

- 若狭町議会会議規則の一部改正について(発委)
- 若狭町議会委員会条例の一部改正について(発委)
- 若狭町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について(発委)
- 若狭町監査委員条例の一部改正について
- 若狭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 若狭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 若狭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 若狭町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 若狭町一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について
- 若狭町手数料徴収条例の一部改正について
- 若狭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
- 若狭町介護保険条例の一部改正について
- 若狭町漁港管理条例の一部改正について
- 若狭町空家等対策の推進に関する条例の一部改正について
- 若狭町水道事業給水条例及び若狭町水道法施行条例の一部改正について
- 若狭町情報基盤整備事業基金条例の廃止について
- 若狭町えびす荘条例を廃止する条例の提出について
- 小浜市と若狭町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 令和6年度若狭町国民健康保険特別会計予算
- 令和6年度若狭町後期高齢者医療特別会計予算
- 令和6年度若狭町直営診療所特別会計予算
- 令和6年度若狭町介護保険特別会計予算
- 令和6年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計予算
- 令和6年度若狭町営住宅等特別会計予算
- 令和6年度若狭町土地開発事業特別会計予算
- 令和6年度若狭町水道事業会計予算
- 令和6年度若狭町工業用水道事業会計予算
- 令和6年度若狭町下水道事業会計予算
- 令和6年度若狭町国民健康保険上中診療所事業会計予算
- 町道路線の認定、廃止及び変更について
- (仮称)三十三間山の風力発電事業計画に対して反対する意見書の提出を求める請願書
- (仮称)三十三間山の風力発電事業計画に対して反対する意見書について(発議)

3月22日に異議なく適任としたもの

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(堤 中村正人 氏)
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(世久見 青木貞子 氏)

賛否背景は各質疑事項(P5~8)をご参照ください。

議案等名	議員名	採決月日	谷川暢一	川島富士夫	西村毅	倉谷明	増井文雄	藤田正美	熊谷勘信	島津秀樹	辻岡正和	坂本豊	今井富雄	北原武道	松本孝雄
若狭町手数料徴収条例の一部改正について		2/28	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○
令和6年度若狭町一般会計予算		3/22	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	×	○

※欠……欠席

条例制定

若狭町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

概要

地方自治法第92条の2の改正により、議会議員の請負に関する規定が緩和され、年間300万円以内であれば、町との取引が可能となった。

若狭町議会では、議会運営の公正、事務執行の適正が損なわれることがないよう、町に対し請負をする者である議員が、当該請負の対価として各会計年度に支払を受けた金銭の総額や請負の概要など一定の事項を公表し、議員個人による請負の状況の透明性を確保するため、本条例を制定した。

若狭町議会から意見書を提出（仮称）三十三間山の風力発電事業計画に対して反対する意見書

趣旨

現在、三十三間山山頂に風力発電を建設する計画が進められている。三十三間山は地元のみそみ地区だけでなく、上中地域の上水として利用されている天増川や北川の源流でもあり、若狭町民の生活になくてはならない水源でもある。集中豪雨が頻発する昨今において、山を開発する行為は、災害の危険性を増大させ、飲料水だけでなく、はす

川の泥水が三方五湖へ流れ込むことで、湖の環境汚染、漁業への影響など、その影響は広範囲に及ぶこととなる。

若狭町議会として、2,000名を超える住民の反対署名の重みをしっかりと受け止め、貴重な自然を守り、住みよい若狭町を次世代につなげていくために、意見書を政府関係機関に提出する。

(仮称) 三十三間山の風力発電事業計画に対して反対する意見書

(仮称) 三十三間山風力発電事業に係る環境影響評価における「方法書」が公告縦覧され、それに伴う地元説明会が開催されました。そこでは、当事業で三十三間山を中心に南北約6kmに及び稜線上の森林や風衝草原を伐採、掘削して高さ180mにもなる巨大風車17基が建設されることの説明をされました。

地元住民はもとより、町内外の多くの登山愛好者に親しまれている三十三間山の山容が改変され、景観が著しく損なわれます。また、稜線上の工事造成による土石流や洪水、濁水の発生のリスクが高まること懸念されます。さらに一帯は若狭町上中地区や地元三方地区へ、飲料水を供給するための重要な水源であり、その水質低下につながる恐れがあります。

「地球にやさしい自然エネルギー」を謳う風力発電ですが、人々から親しまれている豊かな自然、人々のみならず多様な動植物に恵みを与えている自然環境を破壊してまで建設するものではありません。若狭町は豊かな山、川、湖、海の自然に恵まれた町であり、それらを活かした観光振興を図る町でもあります。再生可能エネルギー開発は別の方法で貢献すべきと考えます。

また、三十三間山山頂を中心とする稜線部の多くは国有林です。国においてもそこに形成されているブナ林や風衝草原については保全に尽力して頂くことを願うものです。

以上、若狭町議会は、現在計画中の(仮称) 三十三間山風力発電事業には賛成することはできません。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和6年3月22日

衆議院議長、参議院議長、県選出国會議員、経済産業大臣、環境大臣、農林水産大臣、林野庁長官、近畿中国森林管理局長、福井県知事

若狭町議会



視察報告

Inspection report

□ 広報特別委員会 視察研修

【期 日】

令和6年2月8～9日

【視察先】

奈良県王寺町議会広報編集委員会

【出席委員】

倉谷委員長、西村副委員長、島津委員、藤田委員、増井委員、谷川委員

【内容と報告】

◆奈良県王寺町「議会広報紙作成の取り組みについて」(王寺町議会)

議会だよりリニューアールの取組みを昨年度から進めている中、その参考となり得る先進地を視察した。



□ 議会改革特別委員会 視察研修

【期 日】

令和6年2月14～15日

【視察先】

福島県磐梯町議会

【出席委員】

島津委員長、増井副委員長

【内容と報告】

◆磐梯町議会

議会をオンラインで開催することの目的や自治体におけるデジタル変革とは、自治体がデジタル技術も活用して住民本位の行政、地域、社会を実現するプロセスであり、業務効率化、省人化、コスト削減を主目的とする。



□ 議会改革特別委員会

視察研修

CT化と、町民本位の行政、地域、社会の実現を主目的とするデジタル変革を、明確に区別することが必要であることを学んだ。

かわしま ふじお
川島 富士夫
議員



令和6年能登半島地震を受けて、本町の地震に対する危機管理は大丈夫か

町長

住民の皆様や関係機関・団体等との連携を密にした避難訓練の継続で住民の皆様を守る

問 本町の災害備蓄品の見直しはしないのか。

答 若狭町地域防災計画に基づき最大避難者数の非常食、飲料水は備蓄済み。他にも毛布、段ボールベッドは各地区の防災倉庫に備蓄済みである。今後は非常用トイレの拡充を図っていく。

問 地震、津波ハザードマップの見直しはしないのか。

答 地震ハザードマップについては、震度6弱以上の地震に対して、発生場所・発生の可能性・規模を計算して作成してある。また津波ハザードマップについては、平成26年に県の津波浸水想定に基づき作成し、関係集落に全戸配布してあるが、今年度基準水位を「高く」見直して更新した。現段階では両ハザードマップとも見直す予定はない。

問 能登半島地震で家屋倒壊が拡大したのは、耐震強度の脆弱な家屋が多かったからだとされている。本町にも熊川宿などに耐震強度の脆弱な文化財的建物も多いが大丈夫か。

答 熊川宿は家屋が密集して建てられている。文化財的な価値の保護と住民の暮らしを守る意味からも、耐震対策が重要であると認識している。今後は施主との協議の上で建造物の耐震強化に努めたい。

問 今後「本町防災士の会」への期待が高まると思うが、現況はどうか。

答 防災訓練においては主導的な役割を担い、町民の防災意識の普及を図り、各地区の防災研修会の講師等々大変お世話になっている。

HPV ワクチン接種の公費助成を男女に

問 現行のHPVワクチン接種。公費助成の対象に男子も加えられないか。

答 令和2年に予防接種法において、男性のHPVワクチン接種が薬事承認された。しかし定期接種への検討が、厚労省で現在行われているところでもあり、今後も国の動向を確認しながら判断していきたい。

いま いとみ お
今井 富雄
議員



北陸新幹線開通のビッグチャンスをどのように具現化していくのか

町長

消費場所や宿泊施設不足の課題に対し、官民連携で再整備を計画する

問 北陸新幹線開業に向けての施策の進捗は。

答 三方五湖・若狭湾エリア、そして熊川宿や河内川ダム周辺、瓜割の滝などからなる熊川宿エリアを二大観光エリアとして位置づけ、整備と磨き上げに取組み、概ね完了した。

問 北陸新幹線開業施策における経済波及効果・入込客数の目論見は。

答 第3次若狭町観光振興ビジョンでは、観光消費額および入込客数を令和7年では、令和元年比120%増の目標としている。

問 観光客による経済効果を高めるための、宿泊飲食エリアの創設が必要と考えるが。

答 令和6年度において道の駅三方五湖周辺を新たな観光拠点として、商業・飲食・宿泊を含め再整備する計画を官民連携で取り組む。

今後の農業政策を問う

問 農地中間管理事業の進捗は。

答 県が策定した基本方針目標最終年度の令和5年度では、農地集積率76.9%をはじめ、新規就農者の増加など目標に近い実態になって来ているが、まだまだ農業を続けたい小規模農家もおられることから、今後は自然な流れに任せたい。

問 土地改良区が抱えている問題点と、不耕作地などが及ぼす環境影響への対策は。

答 現在、町内7地区に分けて地域農業の在り方を示す地域計画の策定を通じて課題解決に向けた話し合いを進める。

問 近い将来の農業形態を想定した場合、圃場整備が必要なのは。

答 土地改良区などを中心に整備内容や時期、費用負担など熟慮を重ねていただき、その結果を要望として受け、その上で実施時期の調整のほか、支援の内容などについて検討していきたい。



舞若道沿いの不耕作地

くら たに あきら
倉 谷 明
議員



町の魅力を伝える 観光ガイドを育成する取組みを伺う

町長

町の2つの語り部の観光ボランティアガイドの質の向上を目指し、研修会参加や視察研修を行うことにより情報交換をしながら育成へと繋げている

自然環境・文化を守る、 持続可能な観光で関係人口増を

問 “ほんもの”らしさを醸し出すための宿、飲食店造りの伝統工法を引き継ぐ外観補修への支援はどのような内容か。また、県産材使用に対する支援、空き家利活用への町独自の支援はあるか。

答 宿泊施設へは令和5年度より始まった多様な宿泊施設整備支援がある。材料を県産材使用に特定した町独自の支援策は無い。空き家利活用のリフォーム費用について、国・県の補助制度を利用しながら町が支援している。外観補修への支援策は移住者等からは問い合わせはないことから考えていない。

問 ウェルネス観光推進の具体的な取り組みと実績はあるか。

答 (株)クマツグが山座熊川とトレイルコースを活用し、心と体の健康に気づくツアーを販売すると聞いている。また、町では、ツーデーマーチは今後、国内外の健康づくりに関心のある人もターゲットに、自然景観や海・山の幸を楽しんでいただき、心も体もリフレッシュしていただける大会となるよう取り組む。

問 環境にやさしい周遊を応援するプランはあるか。

答 レンタカー利用で宿泊、買い物された方にクーポン配布もしくはキャッシュバックする計画がある。また、三方五湖観光協会の周遊アプリ「わかたび」利用、サイクリングで楽しんでもらう環境にやさしい旅の提案で更なる誘客を図る。



空き家利活用のリフォーム

きた はら たけ みち
北 原 武 道
議員



食の地産地消、 どのように進めていくのか

町長

イベントを活用した地場産食材販売会などの企画を検討している

問 町長の任期もあと一年。選挙公報に掲げた公約

- 「医療介護スタッフを増員し、地域医療・介護体制の充実」
 - 「高齢者の買い物や通院を支援する移動手段の確保」
 - 「防災・危機管理の専門職を配置」
- について、どうなっているのか伺う。

答 ○医療・介護系の町職員の数に増減はない。人材確保の施策を強化している。三方診療所、上中診療所を核として医療・介護サービスの維持・向上を図っていく。

○「おでかけ応援タクシーチケット事業」を創設した。月平均利用枚数は、令和3年度20枚、4年度62枚、5年度65枚となっている。今後も様々な移動手段について検討を重ねていく。

○防災・危機管理の専門職は、配置には至っていないが、能登半島地震もあり、必要性を感じている。関係機関などと調整を図っていく。

問 農林水産業政策で、町長は「地元自給率を高め、安全安心な地元産品を購入しやすい体制を整えます」と言っていた。どうなっているか。

答 学校給食、保育所給食への地元産品の利用拡大を図った。白ネギ、山内かぶらの種と梅酢を使った粒マスタード、サワラやアオリイカ、有機米、無農薬栽培の梅干を給食に取り入れた。町内の各直売所では、生産者の高齢化などにより出荷登録者が減少し、これが課題となっている。生産者の育成と品目の増加に向けた取り組みが必要である。イベントを活用した地場産食材販売会などの企画を検討している。

問 「食の地産地消」は個人の健康のみならず、地域の産業振興、環境保全(輸送に伴う二酸化炭素排出の削減)といった健康的な社会の建設にも寄与する。食生活改善の課題として、食生活改善推進員に、その啓発活動をお願いしてはどうか。

答 食生活改善推進員の活動を通してSDGsの理念の醸成を図っていく。



ふじ 藤 田 正 美
議員



若狭町に計画中の（仮称）三十三間山風力発電事業について

町長

福井県や高島市とも連携しながら、適切に対応をしていきたい

問 風力発電事業計画により、景観について若狭町観光客誘致の影響はどのようにお考えか。

答 対象事業実施区域の周辺は、若狭湾国立公園を代表する景勝地で、名勝「三方五湖」や、日本海・三方五湖を眺望する「レインボーライン山頂公園」等が存在する。大型風力発電機の設置は、自然や観光資源としての景観に影響することが懸念され、観光客誘致にも影響する。

問 第2次若狭町総合計画「地域づくり・住みよい集落づくり」に関して、この風力発電事業計画により、これから新たに若狭町で暮らしたいと考えている人に住みよい町と認めてもらえるかどうか。

答 『将来も住み続けられ、心ゆたかで「幸せ」な暮らしの実現』を目指し人口減少により、地域経済の縮小や集落機能の低下などを防ぐため、政策目標を掲げている。風力発電事業計画による定住人口への影響について、三十三間山は人と自然とのふれあいの場として、主要な観光資源であり、木の伐採等による動植物の生態系への負荷や山肌崩壊等の災害誘発、風力発電機の稼働時の騒音・振動を不安視する意見が地域住民の方々から寄せられている。若狭町環境宣言にもあるとおり、私たちの生活は自然との共生と循環で成り立っており、今ある若狭の自然を守ることは重要であり、安心して安全に住み続けられる住環境を維持することが人口減少対策に繋がる。

問 町長は今後、国、県への計画中止の陳情、関係機関への訴え等はどのようにされるのか。

答 経済産業省は、福井県知事の意見を踏まえて審査を行い、事業者にも勧告することとなっています。今後の推移を注視するとともに、福井県や高島市とも連携しながら、適切に対応をしていきたいと考えている。



三方五湖

ます い 増 井 文 雄
議員



若者世代・子育て世代にやさしいまちづくりがなされているのか

町長

「こどもまんなか社会」実現のため、妊産婦から赤ちゃん、こども、若者まで切れ目なく支援している

町の取組が若い世代の期待に添える施策がなされているのか、要望が反映されているのか、子育て世代にやさしいまちづくりになっているのか。

安心できる育児環境

問 子育て定住策は。

答 6年度から「こども家庭センター」を設置し新たな取組も織り交ぜ、きめ細やかな支援に力を注ぐ。



中学生による
赤ちゃん抱っこ体験

問 出生率低下策は。

答 「結婚を応援する」、「子育てを支援する」の二つの切り口から、町独自の支援策も含め幅広く力強く応援していく。

安心して遊べる環境

問 全天候型あそび場整備は。

答 パレア若狭のキッズルームを増改築し、幅広い世代が利用できる安全安心な遊びの空間を整備する。

問 保育所の再編による保育環境づくりは。

答 児童数減少を踏まえ保護者や地域の皆様の理解を頂き民間活力（導入）も視野に入れながら、新設や再編を進めていく。

持続可能な地域公共交通の実現について

問 交通弱者への支援策は。

答 町営バスは学校・駅・病院中心に一日9便運航。デマンドタクシーについては、三方地区・上中地区にそれぞれ2台の車両を平日運行している。

問 新幹線敦賀開業に向けた誘客の取組は。

答 敦賀駅から周遊観光タクシーやゴコイチバスの運行を予定。また、レンタカー利用者にクーポンまたはキャッシュバックプランを計画している。

問 二次交通対策・観光客対応を踏まえライドシェア導入を町はどう考えるか。

答 今後、国が示す制度の詳細を見ながらタクシー事業者と協議を重ね、実証運行ができるかなど、必要性を含め検討していく。

組 合 議 会 報 告

若狭広域行政事務組合議会

◆ 広域可燃ごみ中継施設竣工式

3月24日（日）、広域可燃ごみ中継施設「若狭広域サテライトセンター」が若狭町日笠に完成し、竣工式が行われました。令和5年4月から稼働している若狭広域クリーンセンター（高浜町水明）へ可燃ごみを搬入するために必要な中継施設です。

この施設の完成により、嶺南4市町の可燃ごみの広域処理体制が確立し、地域住民の利便性向上につながる事が期待されます。



また、3月25日（月）、第1回定例会が開催され、令和5年度一般会計補正予算、令和6年度一般会計等3議案について審議が行われ、可決されました。

お詫び

議会だより第75号P3特集ページの三宅地域づくり協議会会長の氏名を誤って記載してしまいました。正しくは「三木和俊」様です。謹んでお詫び申し上げます。

にしむら つよし
西村 毅
議員



小学校は新たな建物は作らない、保育所は移転新設、矛盾していないか

子育て支援課長

保育所と小学校の違いもあり、矛盾はないと考えている

問 三宅保育所とののはな保育園を統合し移転新設と聞くが①理由は何か。②費用の予想額はどれ位か。

答 ①三宅保育所の老朽化と、のはな保育園の児童数の減少により、新たな場所での建て替えを計画している。②建設費は現時点での概算で約3億円程度はかかる見込みで、補助金などもあるが相応の費用は掛かると思われる。

問 今の位置での建て替え、今の建物を修繕、のはな保育園の増築活用、野木小の活用、等々が考えられるが、検討はされたか。

答 三宅保育所は定員90名。古くて手狭なため改修では限界がある。のはな保育園は、定員45名で今回は100名の計画であり、大規模な増築が必要。野木小は、これから再編が検討されるためまだ検討はしていない。

意見 しっかりと検討し、その結果の情報公開をお願いします。

婚活施策の充実

問 中期計画に婚活施策の充実の項目があるが、どのような取り組みを行っているか。

答 ①“marriage meeting”～若狭で見つける新しい恋～（出会いの場を創出する婚活イベント）の開催と、②県内でのマッチングシステム“ふく恋”の活用を推進している。

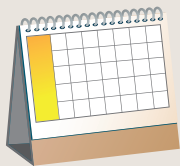
問 独身者に独身でいる理由を尋ねたアンケートでは、適当な相手に巡り合わないから、との回答が最も高いとの調査結果がある。取り組んでいる内容の登録・参加者数と状況はどれくらいか。

答 “marriage meeting” 出会いの場には希望者が多く、2回実施した。マッチングシステム“ふく恋”は県下で千人を超える方の登録があり、現在登録費の半額を助成している。

意見 “marriage meeting”は好評の様であり、今後も継続していただくようお願いする。

その他の質問

瓜生、熊川小の統廃合の状況と、野木小の統廃合説明状況について。学校数のビジョンについて。



令和6年 6月定例会の日程

会期:6月4日(火)～6月21日(金)



- 本会議(開 会) / 6月 4日(火) 9時
- 本会議(一般質問) / 6月10日(月) 9時・[予備日]11日(火)
- 本会議(閉 会) / 6月21日(金) 9時

※一般質問は、原則翌日から行政チャンネルで録画が放送されます。

※本定例会で扱う請願・陳情の受付は5月27日(月)15時締め切りです(議会事務局)。

*詳細日程は、右記のQRコードから御確認ください。
*町ホームページにも掲載しています。



今回の表紙



JA 梅の里会館にて開催されました「三方五湖梅まつり」は、梅の花が見ごろを迎える時期に行われる恒例イベントです。今年は花の開化が早く、この日は見ごろを過ぎていましたが、多くの花見客でにぎわいました。

議会の動き



1月25日 政治倫理条例等講習会



2月2日 高槻市議会表敬訪問

編集後記

北陸新幹線敦賀開業により、沿線はもとよりレインボーラインや熊川宿が多く観光客でにぎわっています。

最近の観光は「観る」から、「楽しむ」「学ぶ」に変化しており、祭礼など伝統文化の多い若狭地方も大いに注目されておりあります。

祭りと言えば、各地区では四月になると春祭りが開催されます。人口減少で存続も開催も難しいところもあるようですが、集落一丸となり、地域の活性化と伝統文化継承に注力いただきたいと思います。

議会だよりが「つなぐ」となり早や一年、今年も皆さんのご意見をいただきながら、永くつないでいきたいと思えます。
(増井 文雄)

